

## YES. YOU HAVE CHANCE !

清々しい朝である。冷気が肌に沁みる。  
チクリとする空気、身体が締まる。  
ステラもハナも気合が入ってる。ぐんぐん私を引っ張って行く。  
朝の散歩は何時もながらいろいろ考えさせられる。  
何故か今日は“CHANCE”チャンスについて考えた。理由は分からない。  
いつも突然に考えが浮かぶ。  
これも CHANCE かもしれない。

“誰にも一生のうちにチャンスが3回はおとずれる”  
何時ごろだろう、・・・昔、聞いた言葉だ。  
誰が言ったのか分からない。でも良く聞いた。  
一生のうちに3回、いつ来るか、何故3回なのか勿論分からない。  
何となく無責任な話の様で申し訳ないのだが、子供のころに確かに聞いた。  
だから続けさせてもらう。”チャンスが必ず3回はあるよ！”何となく響きがいい。  
3回と言わずもっとあってもいいのでは、と思うのであるが、・・・どうだろう。  
あまり、欲張ると全くチャンスをくれないかもしれない。

ここで、チョット昔を思い出してみた。  
秋は、朝から物思いにふけりやすいようだ。  
俺の人生に3回チャンスがあったか考えてみた。  
あったような、無かったような、逃がしてしまったような確かな記憶はない。  
宝くじ、買ったことはあるが当たったためしがない。ホント！  
学生時代、悪友に連れられて中山競馬場に行ったことがある。  
チャンスは全くなく、有名なオケラ街道を腹をすかして惨めな思いで帰った。

オット、話を変な方にいきそうだ、真面目に考えよう。  
チャンスとは、好機、機会と辞書にある。

チャンスは自分から探しに行くのだろうか？  
それともチャンスが向こうから来てくれるのだろうか？  
その両方かもしれない。

チャンスと分かりそれを手にするには、何か自分の目的、希望、夢を持つことが大切なのではないかと思う。  
何となく思うのだが、チャンスは何時でも何処でもその人のまわりに有る様な気がする。  
掴めるか、逃がしてしまうか、それはその人の日頃の生活態度によるのでは・・・。  
とにかくチャンスは誰にでも3回以上ある。  
これは断言する。

今月は第20回全日本選手権である。まさに好機、チャンス到来である。  
出場しようか、止めようか？迷っていたら即、前に出る。  
目の前のチャンスはしっかり掴まなくてはいけない。  
あの有名なアトランタのツトム先生も出場するようだ。  
だけど彼にはチャンスがあるのか、チョット心配である。  
でも誰でも夢を見ることは良いことだから、・・・いいか！

私も出場する。

どうなるか解らないが、とにかくチャンスだと思っている。

私の歳になると、“ハイ、御苦勞様でした。貴方のチャンスは終わりました。”

・・・なんて、チャンスの神様が言い出すのではないかと気にかかる。

だから逃がさない。

両手で確り掴んで口の中に入れて噛み砕く。

そんな気合である。

オス